

平成22年度弘前ねぶたまつりの結果について

商工観光部観光局観光物産課

1. 概況

今年度の弘前ねぶたまつりは、合同運行が毎日行われるようになった昭和50年から最多の84団体(昨年より2団体増)が出陣した。新規参加団体は大型3団体(うち1団体は田舎館村から参加)であった。

会期前半は雨に見舞われた日もあったが、後半には天候にも恵まれ、最終的には昨年を上回る163万人の人出となった。

2. 参加団体

台

年度	大型扇	大型組	小型扇	小型組	担ぎ	合計
18	56	6	12	-	1	75
19	58	7	12	-	1	78
20	59	6	15	-	1	81
21	59	7	15		1	82
22	62	6	15		1	84

3. 人出

万人

年度	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	合計
18	30	27	27	23	35	23	1	166
19	32	27	25	20	36	26	2	168
20	35	21	25	26	36	24	2	169
21	35	22	23	22	33	22	1	158
22	37	19	25	15	33	32	2	163

4. 運行台数

台

年度	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	合計
18	40	35	59	38	62	49	14	297
19	44	35	60	39	60	49	14	301
20	39	43	61	42	60	57	12	314
21	46	37	61	41	66	55	13	319
22	49	36	61	44	64	59	16	329

5. トピック

初日の出陣式では、北海道斜里町から、川副副町長が、群馬県太田市からは、清水市長をが運行へ参加し、まつりを大いに盛り上げた。

また、今年のねぶたまつりでは、弘前城築城400年祭マスコットキャラクター「たか丸くん」や、東北新幹線全線会場を意識した、新幹線を模った、前ねぶたが運行されるなど、市を盛り上げようとする津軽衆の熱い想いを強く感じた。

ただ、ねぶた待機場所への集合時間が早すぎたり、運行の終了が目標時刻を越えるなど課題も残ったが、全体を通して大きな事故も無く、盛況裏にまつりが終了したものと思う。